

取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組01	再生可能エネルギー基地の整備・運用
②対応する目標・課題	低炭素・省エネルギー	
③対応する評価指標・目標値	■評価指標:再生可能エネルギー導入比率	■目標値:4%(平成23年度)→65%(平成32年度)
	■評価指標:再生可能エネルギー発電量	■目標値:20,000MWh(平成23年度)→275,000MWh(平成32年度)
④取組内容 市全体のエネルギー計画を策定し、エネルギーの地産地消を推進し、将来的に自給率100%以上を目標とする。 本市の消費エネルギー量や再生可能エネルギーの賦存量を踏まえ、太陽光、風力、バイオマス、小水力などの再生可能エネルギーを最大限導入・活用するとともに、既存のエネルギーと再生可能エネルギーを統合するエネルギーマネジメントシステム等の可能性を探り、地域全体のスマート化や低炭素化を実現する。		
⑤エリア 市沿岸部及び未利用地		
⑥主体 民間事業者、福島県、南相馬市		
⑦活用した国等の制度 ○再生可能エネルギー発電設備等導入促進復興支援補助金(経済産業省) ○風力発電等環境アセスメント基礎情報整備モデル事業(環境省) ○福島県再生可能エネルギー次世代技術開発事業(経済産業省) ○福島再生加速化交付金(復興庁)		
⑧地域の関与 防災集団移転促進事業、ほ場整備事業により取得する市有地について、事業者へ賃借を行う。また、復興整備計画、復興推進計画等により、土地利用に関する特例措置、税制優遇措置などを使うことができるようにし、企業の新規参入を促す。		
⑨スケジュール		
23年度	—	
24年度	全体計画の策定(メガソーラー、風力)	
25年度	実施計画・実施設計(メガソーラー、風力)、実証実験地の整備と生産手法の検討・開発(藻類)	
26年度	実施計画・実施設計(メガソーラー、風力)、資源作物の実証栽培(10ha)、大規模実験施設設置・燃料化技術研究(藻類)	
27年度	実施計画・実施設計(メガソーラー、風力)、施設整備着工(メガソーラー:鹿島地区、風力)、資源作物の実証栽培(20ha)、大規模実験施設設置・燃料化技術研究(藻類)	
28年度	施設整備着工(メガソーラー:原町地区、風力:鹿島地区)	
29年度以降	運転開始(メガソーラー、風力)	
⑩他の取組との連携 取組名 :スマートシティによるエネルギー循環型都市 連携内容:再生可能エネルギー発電施設における発電電力をスマートコミュニティ等で利用することを目指す。 取組名 :一次産業の再生 連携内容:再生可能エネルギー発電施設における発電電力を植物工場等で利活用を行う。		
⑪自立・自律の方針・目標 発電事業であるため、基本的に独自採算が前提となる。イニシャルコストの圧縮と再生可能エネルギーの固定価格買取制度により事業採算性が取れるようにする。一部の収益を市の取組みに還元できる仕組みが必要であると考えており、平成24年度に策定した南相馬市再生可能エネルギー推進ビジョンにおいて地域循環のしくみづくりとして取り組むこととする。 バイオマス(藻類)は実証実験が主となっているが、将来的には市内における新たな産業の創成を目指すものであり、燃料・飼料・医薬品等、様々な用途から採算性を模索し、産業化が可能と評価された成分について順次事業化を目指す。		